

# 音楽

## ◆6か年雙葉プログラム

中一	中二	中三	高1	高2	高3
<p>●歌唱 (学園の歌、ミサの聖歌)</p> <p>●音楽理論 (読譜、記譜、根拠を持って表現するための基礎的な音楽知識を学ぶ)</p> <p>●創作 (言葉付きのリズム創作、作品発表会)</p> <p>●西洋音楽史 (音楽史の時代の流れ、バロック時代の作曲家)</p> <p>●鑑賞 (民族音楽、雅楽、バロック時代・ロマン派の音楽)</p> <p>●歌唱 (日本の歌「浜辺の歌」)</p> <p>●器楽 (箏「さくらさくら」独奏、「泉」三重奏、箏発表会)</p> <p>●歌唱 (合唱祭のクラス合唱曲、ラテン語の聖歌 合唱)</p> <p>●歌唱 (入学式のお祝いの歌：ハレルヤコーラス 合唱)</p>	<p>●歌唱 (イタリア語の歌「サンタルチア」、日本の歌「夏の思い出」)</p> <p>●音楽理論 (読譜・記譜の復習、コードネーム)</p> <p>●鑑賞 (パイプオルガン演奏鑑賞)</p> <p>●鑑賞 (歌舞伎、文楽)</p> <p>●創作 (五線譜に創作したメロディーを記譜)</p> <p>●鑑賞 (古典派の交響曲、ロマン派のオペラ)</p> <p>●歌唱 (合唱祭のクラス合唱曲、ラテン語の聖歌 合唱)</p> <p>●器楽 (ギターの弾き語り)</p> <p>●歌唱 (入学式のお祝いの歌：ハレルヤコーラス 合唱)</p>	<p>●歌唱 (日本の歌「花」)</p> <p>●日本音楽史 (明治～近現代)</p> <p>●器楽 (ギター弾き語り、グループ合奏、演奏発表会)</p> <p>●鑑賞 (能、狂言)</p> <p>●鑑賞・歌唱 (沖縄体験学習に向けて、沖縄音楽の鑑賞・歌唱)</p> <p>●西洋音楽史 (近現代)</p> <p>●歌唱 (合唱祭のクラス合唱曲、ラテン語の聖歌 合唱)</p> <p>●鑑賞 (世界の諸民族の音楽)</p> <p>●名曲のプレゼンテーション (根拠を持って、自らの感じる曲の良さをプレゼンテーションする)</p>	<p>●歌唱 (イタリア古典歌曲の独唱、ミュージカル2重唱：講堂で歌唱発表会)</p> <p>●器楽 (ギター弾き語り、グループ合奏：演奏発表会)</p> <p>●西洋音楽史 (ギリシャ～近現代まで)</p> <p>●創作・音楽理論 (コード進行の進行を学び、現代曲を創作する)</p> <p>●器楽 (箏「さくらさくら」二重奏)</p> <p>●鑑賞 (歌舞伎)</p> <p>●器楽・歌唱 (アンサンブル発表会)</p>	<p>●楽典 ●コールユーブンゲン、コンコーネ50番 ●新曲視唱、聴音 ●音楽史 ●授業内発表会</p>	<p>●楽典 ●コールユーブンゲン、コンコーネ50番 ●新曲視唱、聴音 ●音楽史 ●授業内発表会</p>
← 必修 →			← 選択 →		

## ◆中学チャレンジプログラム (POINT となる活動)

- ・聖歌の取り組み (学園の日、クリスマスなど学校行事のミサ曲を中心として)
  - ・・・カトリック校として大切にしている聖歌を祈りの心で歌えるようにする。
  - 6年間「歌うことは祈ること」であるという思いを大切に育む。
- ・音楽理論・・・楽曲を深く理解するために、確かな読譜力 (調・音符とリズム・表現記号) を身につける。
- ・歌唱単元・・・声を出す仕組みを知り、発声の基本を身につけ、表現力を向上する。
- ・鑑賞・・・根拠を持って音楽を表現・批評できる力を向上させるために、鑑賞・表現の授業を通して、段階的に「音楽を形づくっている要素」を知覚し、豊かに表現できる技能を身につける。
- ・音楽史の学び・・・西洋音楽史の基本的な流れと名曲を、社会 (歴史) の授業と関連付けながら学びを深める。作曲家や作詞家の思いを感じ、それを友人と分かち合い、互いに聴きながら感受する力を培う。
- ・日本の伝統音楽の学び・・・雅楽・歌舞伎・文楽・能・箏演奏などの日本の伝統文化を味わい、その良さを自分の言葉で具体的に表現する。さらに発展的に研究を深め、その文化を継承する一員となる。
- ・発展プリント等、個別最適化を目指した取り組み
  - ・・・チャレンジャープリントをはじめ、学習者が選択できる発展課題プリントを複数用意することによって、個々の学習状況に応じて能力を向上させる。
- ・楽器・設備の充実・・・1人に1台のギター、2人に一面の箏、校内には6台のグランドピアノと1台のアップライトピアノが有り、充実した設備のなかで音楽活動を行う。2つの音楽室を始め、音響効果の高い視聴覚室・反響板を有する講堂のステージで合唱などの音楽・表現活動を行う。
- ・ICT活用機会の充実・・・1人に1台のICT機器による鍵盤アプリやDTM、人の持つ表現力とAIによる音楽との違いにも目を向け、現代社会で音楽の持つ意味や自己の表現力や情報発信力を磨く。
- ・中学合唱祭・・・伝統的な中学全体の合唱行事を通して、音楽的能力と深い精神性を養う。互いの声を合わせる表現を追究することで、自ら考え、相互に活かし合い協働する力を高める。また、3年間でラテン語の聖歌に取り組み、祈る心を養う。